

# 「災害の軽減に貢献するための 地震火山観測研究計画」

平成28年度年次報告

課題番号 9201 富士山における地下水観測

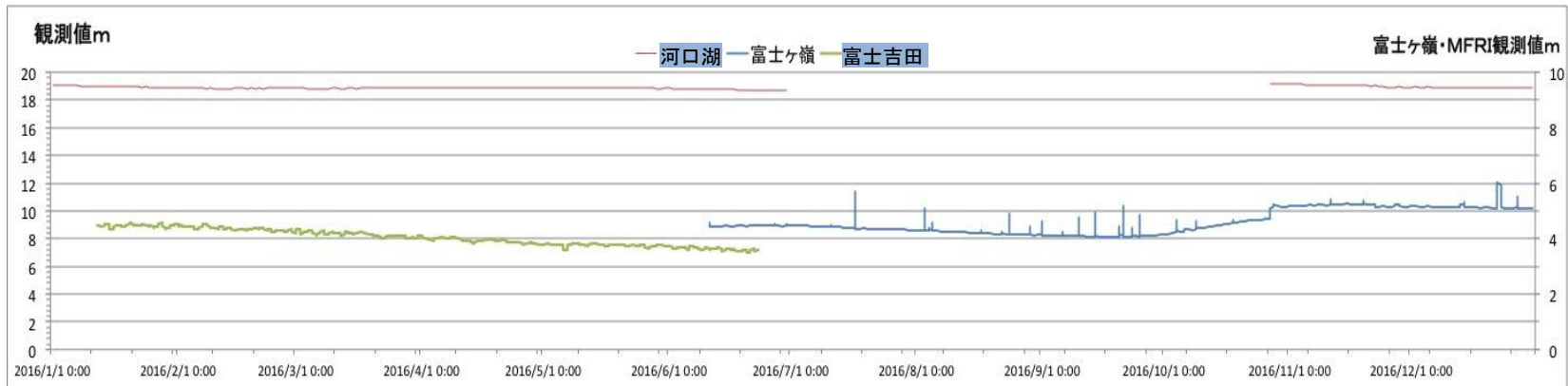
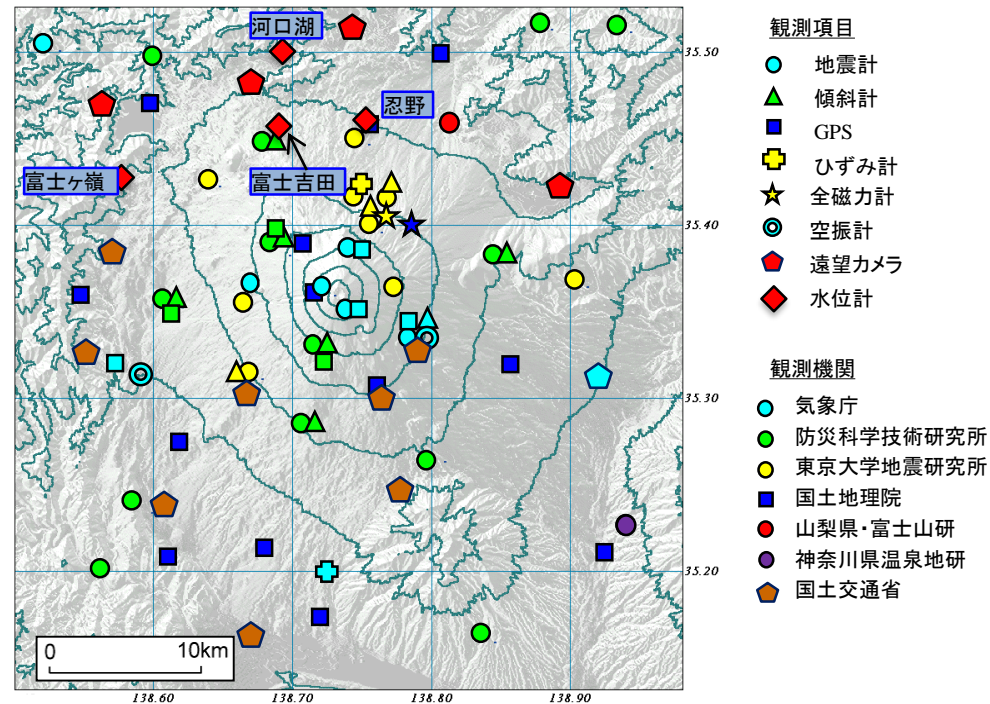
課題番号 9202 富士山の噴火事象系統樹の高精度化のための基礎研究

山梨県富士山科学研究所 火山防災研究部

## 9201 富士山における地下水観測

火山活動の予兆現象として地下水の変動状態監視することを目的に、富士北麓の4箇所観測点を設けて地下水変動の連続観測（地下水位、地下水温、電気伝導度）を実施している。

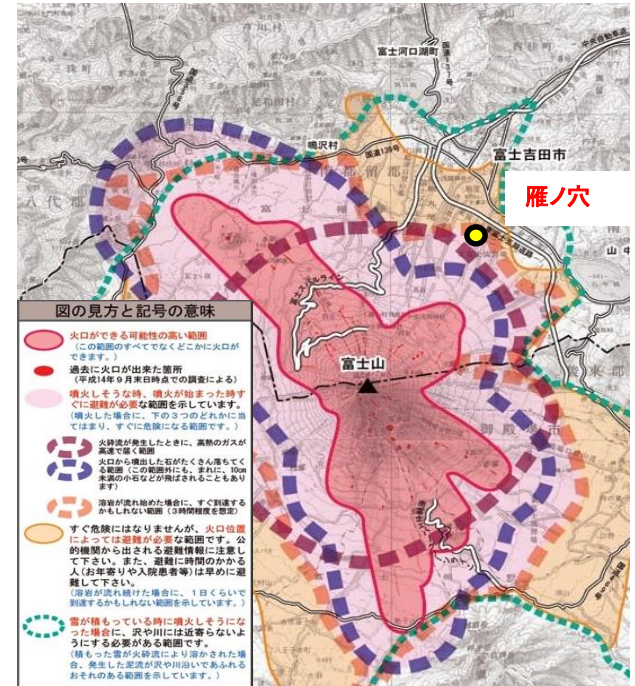
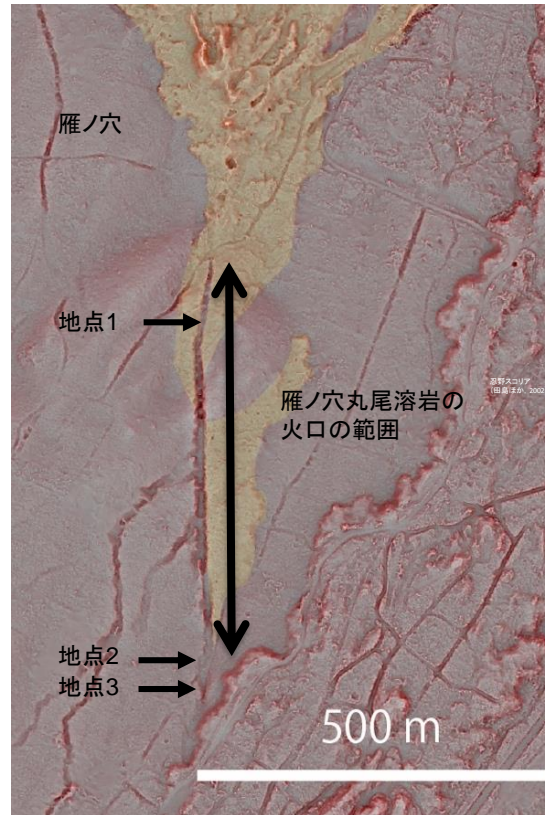
H27年度から富士吉田観測点を設置し、観測を開始した。



# 9202 富士山の噴火事象系統樹の高精度化のための基礎研究

## 「雁ノ穴丸尾溶岩の火口位置の特定」

✓富士吉田市街に最も近接するとされてる雁の穴丸尾溶岩の割れ目火口の北端および南端を確認するため、両端と考えられる3地点で掘削調査を実施した。その結果、2地点で岩脈を確認し、

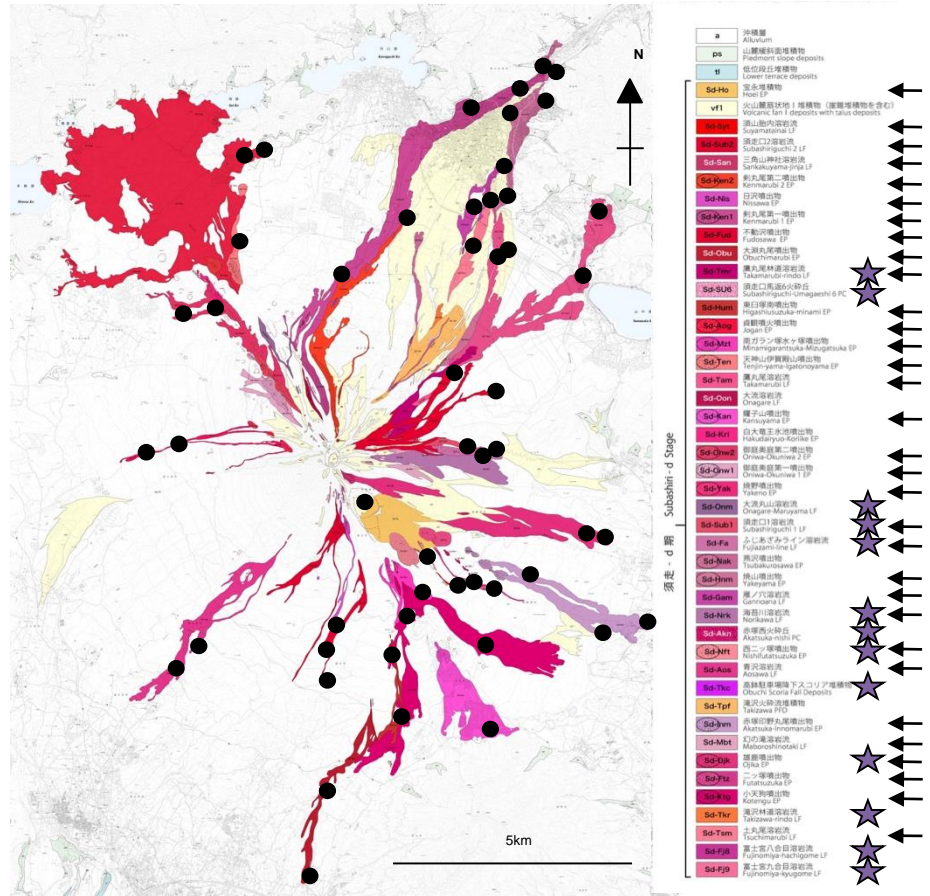
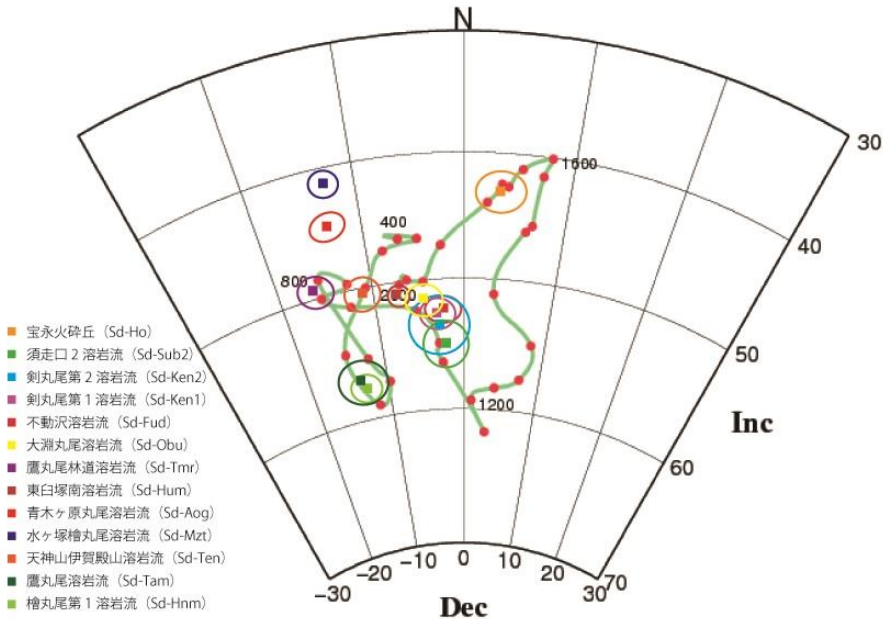


# 9202 富士山の噴火事象系統樹の高精度化のための基礎研究

## 「富士山の古地磁気を用いた溶岩噴出年代の決定

」  
 ✓富士山北麓及び南麓に露出するAD400年以降の溶岩・火砕丘13層準249試料を採取・測定し、それらの古地磁気方位と既存の古地磁気永年変化との整合性を確認した。永年変化モデルJRFMK.1(Hatakeyama et al.,2012)と測定結果を比較すると、AD1707年の宝永噴火やAD1000から1100年にかけては層序とも整合性が認められるが、整合的ではない溶岩も複数認められる。

JRFMK.1 Secular Variation at 138.73, 35.36



富士山 過去2200年間の溶岩の分類と分布図(高田ほか 2014)

●と←は試料採取位置、★は年代未詳な溶岩を示している。